

●どんな工作なの？

アルソミトラ・マクロカルパは熱帯雨林に生える【つる性の植物】で、巨木にからまって10m以上の高さに20～30cmぐらいの実をつけ、実の中には500枚ぐらいの種子がはいっています。実が成熟するとまるでグライダーのように滑空（かっくう）し、数百メートルも遠くへ飛ぶことができます。この種子の形状がグライダーのもとになったとも言われています。この工作では、アルソミトラの種子の模型をつくり飛ばします。

●作り方とコツ

【用意するもの】

- ・アルソミトラの種子の型紙（ダウンロードして使用しましょう。）
- ・普通紙【型紙印刷用】（発泡スチロールトレイやスチレンペーパーでも可）
- ・厚めの紙（紙厚0.2mmほど）厚紙でも可
- ・ビニールテープ、のり（もしくは両面テープ）、はさみ

【つくり方】

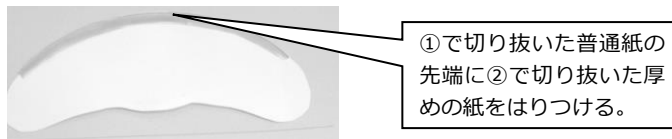
①印刷した型紙にそって、アルソミトラの種子の型紙をはさみで切り抜く。



②厚めの紙にアルソミトラの種子の型紙をおき、前の部分のみ型をとり、下に5mmずらして再度型をとる。その後、はさみで切り取る。

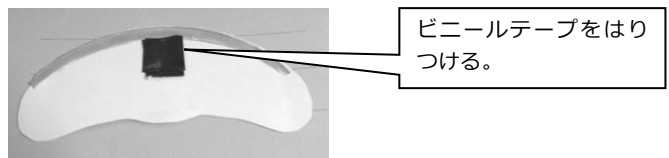


③①で切り抜いた紙に、②で切り抜いた厚めの紙をはりつける。



①で切り抜いた普通紙の先端に②で切り抜いた厚めの紙をはりつける。

④ビニールテープを正方形に切って、4～6枚を種子の部分にはりつける。



ビニールテープをはりつける。

【飛ばし方】

- ①アルソミトラ模型の後ろ側中央をつまんで下に向け、手を高く上げて、指をはなす。
- ②指をはなすと、フワ〜ッと滑空します。
- ③模型が滑空せず、落ち葉のようにヒラヒラ落ちるようならば、ビニールテープを追加します。
- ④できるだけ長く飛ぶようにおもりの重さやつばさの角度、さらには、つばさの材料や形を工夫してみましょう。



●気をつけよう

- ・はさみを使います。気をつけましょう。

・ビニールテープをはる位置や翼を折り曲げることで工夫することもできます。

